ボーリング柱状図

調　　査　　名　砂防指定地内河川 八幡川 通常砂防事業に伴う設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	3	8	7	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	No.0+2.16(R-12.63)		北緯	34° 09’ 28.5689″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成27年12月 2日～平成27年12月 5日		東経	132° 27’ 56.9430″
調査業者名		主任技師		現場代理人		ボーリング責任者
孔口標高	TP 142.87m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	8.00m	使用機種	試錐機：東邦製DO型	ハンマー落下用具：自動落下		
			エンジン：ヤンマーNFD-13K	ポンプ：BG-3B		

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm／時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l／分	排水量 l／分
1				コンクリート	褐灰～灰						既設堰堤。右岸側袖部。 硬質な粗石とコンクリートの混合材料（粗石コンクリート）よりなる。 部分的に空隙が認められる。 粗石は細～中粒花崗岩からなり，非常に硬質。 礫～短柱状コアとして採取される。最大コア長40cm程度。 コンクリートは粗骨材を含み，間隙が部分的に認められる。 玉石との境界部ではわずかだが砂状となる。 材料の割合は，粗石部55.7%，コンクリート部28.3%，空隙部16.0%。									12/2	30						
2																					20							
3																				12/3								
4	138.17	4.70																				66	ダブル／ｦｲﾔ	10	120	0	清水／25	0
5					淡褐	C	V	d	γ		基盤岩。中～粗粒花崗岩。 GL-4.7～5.48m間，礫～岩片状で採取。 GL-5.48～6.30m間，亀裂減少し短柱状主体となる。	0 (100)	CL		5.00	貫入不能													
6				花崗岩		B	Ⅲ	b	β			13 [13] (100)	CM		6.00	貫入不能												
7					褐灰	C	Ⅳ	c	γ	2	GL-6.30～6.45m間，部分的に風化進行し，礫～岩片状で採取。 GL-6.45m以深，亀裂少なく主に短柱状主体となる。 コア肌なめらかで非常に硬質。 ハンマー打撃で金属音。	25 [50] (100)	CL	12/5 7.30	7.00	貫入不能								25	150	0	清水／25	20
8	134.87	8.00				B	Ⅱ	b	β			18 [60] (100)	CM		8.00	貫入不能				12/5	40						
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												